

1万人のエコチェック事業

事業概要

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度からスタートした。

内容は、9月の検針日までの約1ヵ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見える化」する。今年度は、実践率50%を目指した。

多くの推進委員の実践を促すため、エコチェックカードは、広島県公衆衛生大会の「エコチェック事業おたのしみ抽選会」の抽選券として活用。さまざまな景品が獲得できるしくみとしている。

事業の流れ

- 4月22日(水) 事務担当者会議(1万人のエコチェック事業実施要領配布)
- 7月31日(金) 申請〆切
(申請後) エコチェックカードと記載マニュアルを郵送にて配布
- (8月~9月) 各家庭で省エネを実践(電気・ガスの9月分検針票を確認)
- (9月下旬) エコチェックカードに電気・ガスの使用量、省エネ実践項目を記入
- 10月15日(木) エコチェックカードを各公衛協に提出〆切
- (10月中旬) エコチェックカードを回収し、集計を実施
- 10月30日(金) 実施報告書を提出〆切
- 12月10日(木) 第56回 広島県公衆衛生大会にエコチェックカードを持参
(一万人のエコチェック事業お楽しみ抽選会の実施)



○エコチェックカードステップアップ編(左) 基本編(右)

エコチェックカード記入マニュアル

エコチェックカードの記入方法について分かりやすく解説したマニュアルを配布。使用量のお知らせの見方や省エネ実践項目などを記載している。



(A3見開きサイズ)

平成27年度の実績

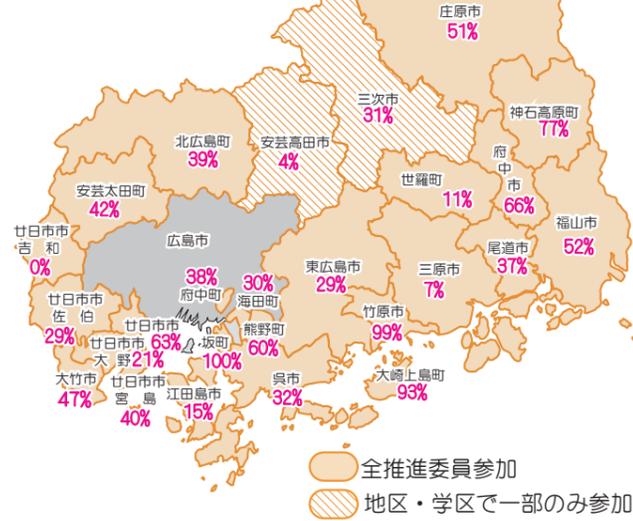
申請者数・実践者数

広島県内公衆衛生推進委員(広島市除く) 9,274人のうち、

申請者数: 8,453人(参加率: 91.1%) 前年比↑1.4%
実践者数: 3,369人(実践率: 36.3%) 前年比↑0.9%

参加公衛協

26市町公衛協が参加



(注) 実践推進委員数...エコチェックカードを提出した人数

エコチェック事業集計報告

電気	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実践世帯数	3,193 世帯	3,283 世帯	3,021 世帯
※有効回答数			
1世帯当たりの平均使用量	約447kWh	約496kWh	約532kWh
1世帯当たりの平均増減量	約49kWh減	約36kWh減	約18kWh減

※前年同月比が比較可能なデータ数

実践率ベスト3と実践率の上昇率ベスト3

公衛協活動をPRできる記念品を授与	
実践率	実践率の上昇率
第1位 坂町公衛協 (実践率: 100%)	竹原市公衛協 (上昇率: 30.0%)
第2位 竹原市公衛協 (実践率: 98.9%)	熊野町公衛協 (上昇率: 30.0%)
第3位 大崎上島町公衛協 (実践率: 92.6%)	神石高原町公衛協 (上昇率: 19.3%)

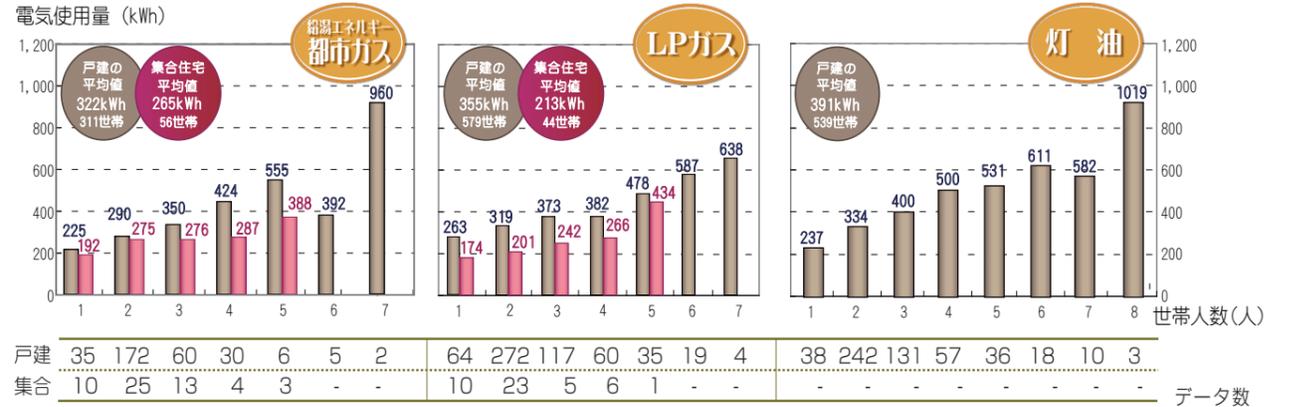
平成27年度の実績

平均的な家庭の電気使用量

回収したエコチェックカードのデータを集計し、家族人数別・給湯エネルギー別の平均電気使用量を算出。

全世帯の平均電気使用量は447kWhで、オール電化の戸建て住宅では、それ以外の平均使用量よりも215kWh多かった。

●世帯人数別平均電気使用量のグラフ



凡例
 ■ 戸建て
 ■ 集合住宅・マンション
 ■ 戸建て(太陽光発電設置)
 ● 給湯のエネルギー

基礎データ (平成27年9月の電気使用量)



マツダスタジアム観戦チケット (10試合分 外野指定6人/試合)

★当選した公衛協★
 ●北広島町 ●世羅町
 ●尾道市 (2) ●福山市 (2)
 ●庄原市 ●呉市 (3)

消費電力測定器具 (10個)

★当選した公衛協★
 ●熊野町 ●竹原市
 ●東広島市 ●府中市 (5)
 ●福山市 (2)

坂町特産品セット (30セット)

★当選した公衛協★
 ●坂町
 ●大崎上島町
 ●大竹市
 ●北広島町
 ●廿日市市
 ●尾道市 (2)
 ●府中市 (6)
 ●福山市 (8)
 ●神石高原町 (2)
 ●三次市 (2)
 ●呉市 (5)

実践率・実践率の上昇率BEST3

○オリジナルデザインベスト: 熊野町
 ○オリジナルデザイン帽子: 坂町
 ○オリジナルデザインうちわ: 大崎上島町

○公衛協名入れタオル: 竹原市
 ○ブランケット: 廿日市市
 ○オリジナルデザインブルゾン: 神石高原町

成果

- 全公衛協が実践(目標: 実践率50%)
 実践率は36.3%(実践者数: 3,369人)で、昨年度より0.9ポイント増加。
- 平均的な家庭の電気使用量を算定
 回収したカードから電気使用量の数値をデータ化し、住居形態別の平均的な電気使用量を算定。

平成28年度に向けて

- 目標値は実践率50%を継続して設定
- 実践率50%を超えた市町公衛協向けに『ステップアップ編』を設定
 「広めるコース」推進委員以外にも取り組み範囲を広げる
 「深めるコース」電気、灯油、ガスを記録する